

○ 市政報告等		
(1) 市長からの市政報告		
・まちづくりの転換期 ・全国屈指の森林観光都市 ・令和7年度予算規模について ・市制施行70周年記念事業 ・令和7年度の主な取り組み	1-1 健康で安心して暮らせるプロジェクト ～ネイチャーポジティブ宣言～ 1-2 健康で安心して暮らせるプロジェクト ～プラスチック一括回収の毎週収集化～ 3-1 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト ～OMOTANコイン～ 3-2 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト ～多世代交流施設の整備～ 3-3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト ～はだのスポーツビレッジ～ 4-1 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト ～土地区画整理事業など～ 4-2 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト ～羽根森林資源活用拠点(仮称)の整備～ 5 横断プロジェクト「移住・定住活性化プロジェクト」 ～はだのOMOTANライフ応援事業～ ※その他の事業は、資料を別添。	市長
(2) 総合計画後期基本計画素案(基本計画及び地域まちづくり計画)の説明		
・計画の期間と構成 ・PDCAサイクルによる計画のマネジメント ・リーディングプロジェクト ・施策大綱別計画(概要) ・施策大綱別計画(概要) ・施策大綱別計画(概要) ・施策大綱別計画(概要) ・施策大綱別計画(概要) ・地域まちづくり計画 ・【地区】地域まちづくり計画 ・今後のスケジュール	・社会潮流と基本的な策定の視点 ・計画の基礎指標 ・施策大綱別(分野別)計画の体系 - 第1編 誰もが健康で共に支えあうまちづくり - 第2編 生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育むまちづくり - 第3編 名水の里の豊かな自然と共生し安全・安心に暮らせるまちづくり - 第4編 住みたくなる訪れたくなるにぎわい・活力あるまちづくり - 第5編 市民と行政が共に力を合わせて創るまちづくり	総合政策課 長

○ 意見交換

(1) 地区からのテーマに基づく市政報告

【市からの状況説明】

○小田急線電車基地建設による道路拡張について

・小田急電鉄による総合車両所の整備については、昨年3月に、小田急電鉄が、鶴巻地区を含めた近隣住民を対象に住民説明会を開催したと聞いている。

・本市が把握している情報によると、この総合車両所の整備に伴い、「伊勢原7号踏切」、また、計画地南側に接する「伊勢原10号踏切」及び「11号踏切」、そして、伊勢原市道の2つの路線が閉鎖される。

・また、小田急電鉄は、この代替として、踏切の新設と、3つの付替え道路の整備を計画していると聞いている。少し遠回りになるが、南北の交通は、確保されるものと認識している。

・付替え道路について、ひかりの街から万崎橋までの間の伊勢原市方面への抜け道があるが、広げていただくよう伊勢原市に要望している。

・都市計画道路 上粕屋南金目線は、「付替え道路3号」と重なる場所を含めて南北に走る道路。この道路の全体計画は、北側から伊勢原市、そして本市を通過して南側の平塚市へとつながるもので、3市にまたがっている。現時点では、伊勢原市及び平塚市内の区間では、区画整理に合わせて一部道路が整備されているが、引き続き、伊勢原市等と協議していく。

政策部長



(質問)	・付け替え道路3号ですが、小田急の説明会の時、8m道路と聞いた。今後、8m道路ができるということでよいか。	鶴巻第2自治会
(回答)	・小田急には6m道路と聞いているが、小田急に確認する。上粕屋南金目線は、昭和58年に都市計画決定している。都市計画道路として整備するとなると、歩道も含めた整備となる。時間はかかるが、今後、伊勢原市にも相談しながら検討していく。	政策部長
【市からの状況説明】		
	○おおね公園東側開発(平塚市)について ・取り下げ	建設部長
【市からの状況説明】		
	○駅前旧パチンコ店跡地(その後について)について ・この土地には、66戸のマンションが建設が予定されており、令和5年9月22日に市との協議が完了した。現在は、事業者の着待ちとなっている。 ・未着手の理由としては、件費や材料費などが高騰していることから、工事施工者を探しているが、現在も同様の状況と聞いている。 ・当該地へは、定期的に現地確認を行い、雑草の繁茂や水たまりができている場合は、事業者へ連絡し適切に管理するよう指導している。 ・開発許可については、事業開始まで3年となっている。現在、2年経過しているため、これまでの間に方向性を示していただけと思っている。速やかに対応していただくよう依頼していく。	都市部長
駅前旧パチンコ店跡地について  ・令和5年9月22日に市との協議完了 ・人件費や材料費の高騰により今後の方針を検討中 令和7年5月8日撮影  令和7年6月19日撮影  令和7年7月18日撮影 		

(意見・要望) ・当該地は、土地が低いこと、また地盤が悪く、水が出る可能性が高く、排水がうまくいっていない場所であるため、事業者も地元や市に意見を聞いた上で、早く対応してほしい。	サマリヤマ ンション自治会
(回答) ・事業者は、現地の状況を把握した中で、計画していると思っている。工事施行者が、当初計画していた事業費では収まらない中、新たな事業者を探していると報告を受けているため、未着手となっている。	都市部長
(要望) ・草が繁茂しており、缶なども投げ入れられている。事業者は草刈りや、ゴミの回収をやってもらおう、指導してもらいたい。	まちづくり 委員会
(回答) ・市でも定期的に一部対応はしているが、いただいた意見も含め、事業者伝えていく。	都市部長
(質問) ・先ほどの説明で、3年以内に事業を開始することとなっているとのことだが、着工できなかった場合は、取り下げになるのか。	鶴巻上部自治会
(回答) ・一旦は取りやめという形となり、その後、事業を行いたい意向がある場合は、再協議となる。	都市部長
(質問・意見) ・囲いが透明ではないため、見通しが悪く危険なため、透明の囲いにしてもらえないか。	まちづくり 委員会
(回答) ・事業者には、地域の安全のために検討できないか、投げかけてみる。	都市部長
(要望) ・擁壁の裏にある市有地の管理もやってもらいたい。	自治会
(回答) ・お話の部分も含めて、対応を検討する。	都市部長

【市からの状況説明】

○杉崎商店付近の新川の水害対策について

・昨年度に発生した台風10号により、秦野市では8月29日から9月1日にかけて、短時間に局地的な豪雨となった。1時間当たりの降雨量は、鶴巻公民館では67.0ミリ、城山配水場（下大槻）では75.5ミリと過去最大であり、鶴巻地区及び大根地区では特に局地的な豪雨となった。この豪雨により、鶴巻温泉駅周辺及び東海大学前駅周辺で内水氾濫が発生し、道路冠水が34件、住宅等の床下・床上浸水の被害は41件ほど発生した。

・本市では、公共下水道で整備する雨水管きょは、日本下水道協会の下水道施設計画・設計指針等に基づき、5年に一度の大雨として1時間当たり50ミリ、10分あたりに換算すると約8ミリの降雨に対応する計画として整備を進めてきたが、頻発する集中豪雨や台風に伴う内水氾濫や浸水被害は、全国的にも都市部における大きな課題となっている。

・特に、昨年度の台風10号のような鶴巻公民館で10分あたり23ミリという短時間に猛烈な豪雨では、雨水管きょの排水能力の約3倍の雨量であったことから、下水道計画に基づくインフラ整備だけでは限界であることが明らかになり、官民一体の減災対策が求められている。

・そのため、今後の取組みとして、ハード面では、豪雨の発生時に雨水排水機能が正常に発揮されるよう、新川（鶴巻舞台雨水幹線）の浚渫、雨水排水ポンプの保守点検、大根川ポンプ場についてはポンプ場内の浚渫、流入ゲートや自家発電設備の動作確認等を定期的に行うとともに、現在工事を進めている代々木水路の更新工事などについても引き続き取り組んでいくほか、ソフト面での対応強化として、土嚢の設置や浸水想定区域の住民に対する避難誘導など迅速かつ円滑に行えるよう、現場対応の知識と経験を有する下水道施設課の職員を鶴巻現地災害対策本部の人員として増強していく。

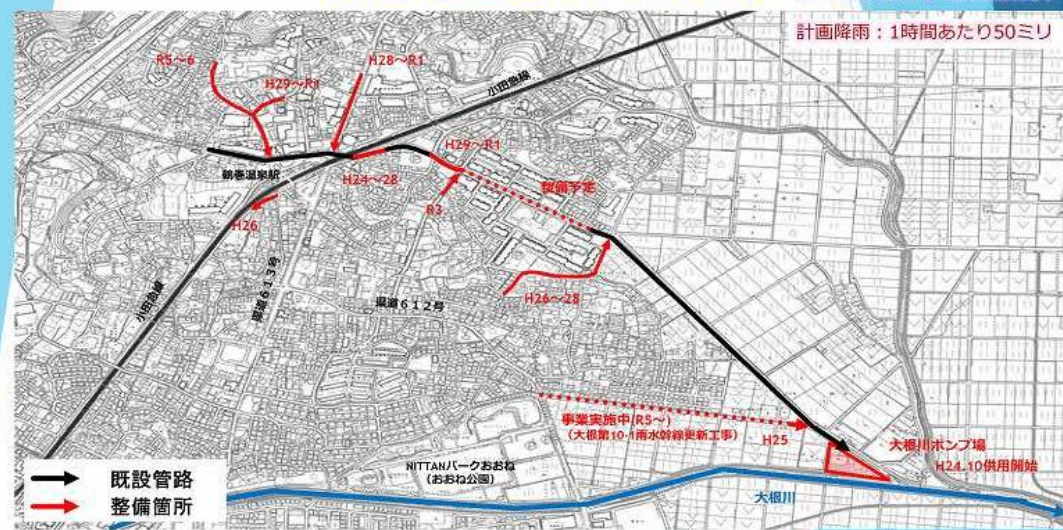
・また、市民の皆さまの自助・共助を促すための取組みも急務と考えており、地下にある雨水管の水位を把握し、情報発信できるような管路内水位観測システムや、少人数で短時間に設置できる簡易的な止水板について、調査研究していく。

上下水道局長

鶴巻地区浸水対策事業

※ 大根川ポンプ場完成後以降

計画降雨：1時間あたり50ミリ



(質問) ・鶴巻温泉駅前の歩道にある、中継ポンプ場の機能を教えてほしい。	鶴巻上部自治会
(回答) ・大根川のポンプ場は、1時間当たり50mmに対応する最大の能力を発揮して下流域に排水している。鶴巻温泉駅前の北側にあるポンプは、芦屋に雨水排水ポンプが3基、排水ポンプが2基、ライオンズマンションの東側に2基ある。これらのポンプも1時間当たり50mmに対応できる排水する能力がある。	上下水道局長
(質問) ・内水氾濫を起こさないためには、鶴巻温泉駅前周辺に、地下タンクを掘って水を貯めておくという方法しかないということか。	鶴巻上部自治会
(回答) ・東京都などで地下タンクで水を貯める手法を採っているところもある。概算で25mプール何十杯分もの量になるため、溢れる分の雨水を地下タンク等に貯めるしか、内水氾濫を防ぐ方法はないのが現状である。	上下水道局長
(質問) ・杉崎商店の下流部の拡幅はできないか。	鶴巻第2部自治会
(回答) ・一部分の拡幅を行っても、全体の水量をコントロールできないため、河川流域全体を見ていく必要がある。	上下水道局長

(2) 市政全般（市政報告及び総合計画後期基本計画素案含む）	
(質問等) ・弘法山ハイキングコースの整備と吾妻山に案内板を設置していただき、感謝する。 ・台風10号の時、公民館の臨時駐車場の歩道部分に凸凹ができた。補修を依頼したが、なかなか実施してもらえず、昨年の12月に仮舗装が終わった。しかし抜本的な対策は、下水道部での工事になるとの話であったが、予算化できているのか。 ・県道613号の整備が令和10年に完了とのことだが、ガストの近くでセットバックされずに平屋が立ったが、道路工事に影響はないのか。 ・鶴巻排水機場が令和7年度に完成と聞いているが、どのようなものができるのか。また、歴史、先人の思いなどの説明看板を設置する予定と聞いているが、どのようなものができるのか。 ・来訪者でハイキング客が増えていて、弘法の里湯への来客数がキャパシティを超えてしまい、不満の声が出ている。対応方法はないか。 ・彫刻のあるまちづくりに取り組んでいる中、マーケット展がギャラリーで行われたが、抽象彫刻はわかりづらいため、説明版を設置してほしい。 ・鶴巻温泉駅ロータリーに立派な野外彫刻の説明版が設置されたが、2週間ほどで撤去された。今後、設置予定はあるのか。	鶴巻上部自治会
(回答) ・公民館の臨時駐車場の歩道部分に凸凹について、現場を確認させていただき、対応させていただく。 ・県道613号について、県において、サン・ライフ入口交差点付近から、落畑バス停までの間の整備を進めている。どの平屋か確認させていただきたい。今後の予定は、令和9年度を目途に用地買収を終わらせ、埋蔵文化財の調査を行い、令和10年度に供用開始と聞いている。 ・鶴巻排水機場は、年内の完成を目標として、最終の整備を行っている。建屋について、昨年度完了しているため、あじさいの植樹などを行い善波川一体感を持たせたり、秦野産材を活用したベンチの設置などを行う予定である。説明版については、自治会の皆様からの意見もいただきながら、設置していきたい。 ・弘法の里湯について、コロナで減少したが、一昨年、昨年と入館者数は過去最高を更新した。リピーターを大切にしているため、引き続き丁寧な対応を行っていききたい。宮永岳彦美術館についても、文化スポーツ部と連携を取りながら対応していく。 ・彫刻のまちづくりについて、昭和62年に第1回の野外彫刻展を秦野市で開催し、市制施行70周年を記念し、野外彫刻を戸川公園中心に2か所設置することで予定している。鶴巻温泉の北口に案内板を設置したところ、乗降者に支障が出てしまったため、別の場所への設置を調整している。今後、彫刻の良さを案内できるようにしていきたい。また、市内の彫刻にQRコードを付けて、説明できるように調整している。	上下水道局長 建設部長 環境産業部長 市長
(意見・要望) ・大椿台において、昨年の土砂崩れにより、県が工事を行っているが、セメントの流し込み方法等に住民が不信感を持っている。責任者等から丁寧な説明をしてもらいたい。 ・ゴミの分別カレンダーについて、外国人は日本語が分からないため、外国語に対応したものとしてほしい。	大椿台自治会
(回答) ・大椿台の急傾斜地について、東側と西側の区域に分けて、対応している。お話の内容は東側であると思うが、平塚土木事務所の工事になるが、防災課において連携を図って対応していきたい。 ・ゴミ分別カレンダーについて、いくつかの言語に対応したものがある。また、「さんあー」というアプリや、アパートのオーナー、不動産会社等に対しても働きかけを行うため、環境資源対策課へ相談いただきたい。	くらし安心部長 環境産業部長